

令和4年度 愛媛大学
中学校教諭二種（英語） 免許法認定通信教育
実施要項



愛媛大学免許法認定通信教育事務局

令和4年度 愛媛大学 中学校教諭二種(英語) 免許法認定通信教育 実施要項

1. 目的

本通信教育は、文部科学省委託事業「教員養成機関等との連携による専門人材育成・確保事業（小学校外国語のための免許法認定講習等実施事業）」に基づき、愛媛大学が松山市教育委員会と連携して実施する通信教育です。小学校の現職教員が、中学校教諭二種免許状（外国語（英語））の取得に必要な単位を修得し、小学校における外国語教育の専門性の向上と、その指導體制の充実を図ることを目的としています。また、本通信教育の一部を外国語指導助手や英語が堪能な地域人材等の外部人材も受講可能とすることで、特別免許状教員等の活用を促進することも目的としています。

※本通信教育は単位修得のみを目的としています。

※免許状の取得には、本通信教育とは別に行政手続きが必要です。

※免許申請は、小学校教諭普通免許状を取得した後、小学校（特別支援学校小学部を含む）における教諭または講師（非常勤を除く）として3年以上の実務経験が必要です。免許状の取得に必要な単位数等については、まずは所属の教育委員会の教員免許状担当部署にお問い合わせください。

2. 開講期間

令和4年8月19日(金) ～ 令和5年1月6日(金)

3. 実施機関

愛媛大学教育学部

4. 受講対象者

(1) 小学校教諭普通免許状を有している者。

(2) 【「英語コミュニケーション」の4つの科目限定】

外国語指導助手等の立場で小学校外国語活動の授業に携わった経験があり、当該所属長等からの委嘱状や依頼状により証明できる者。

※ご経験当時の所属長等からの委嘱状や依頼状など、その経験を証明できる交付された文書の写し等で証明していただけます。

5. 開講科目と単位数

小学校教諭普通免許状を有し、その免許状を取得した後、当該学校種における教諭または講師（特別支援学校の小学校部の教諭または講師を含む）として3年以上の在職経験があり良好な成績をおさめていること、そして、「教科及び教職に関する科目」計14単位を修得することによって、免許状を取得することが可能です。本学では、令和4年度には、このうちの12単位分を開講・実施します。

詳しい開講科目の概要・講師については別紙1をご確認ください。

科目名	単位
(1) 英語学 A (第二言語習得論)	1
(2) 英語学 C (英語語用論)	1
(3) 英語文学 A (英語圏文学)	1
(4) 授業英語コミュニケーション A (Classroom English and Teacher Talk)	1
(5) 授業英語コミュニケーション B (Creating Lesson Plans)	1
(6) 授業英語コミュニケーション C (Using ICT Strategies)	1
(7) 授業英語コミュニケーション D (Creating and Doing Activities)	1
(8) 異文化理解 A (グローバル・コミュニケーション・スキル)	1
(9) 異文化理解 B (社会言語学)	1
(10) 英語科教育法 A	1
(11) 生徒・進路指導論	1
(12) 教育相談	1

6. 受講方法

本通信教育では受講者の皆様に、愛媛大学が独自に開発した遠隔学習支援システム「志（こころざし）」を用いて各科目の受講をしていただきます。

さらに、ビデオミーティングシステム Zoom[®]を用いて各科目のオンライン・スクーリングへ参加していただきます。各自インターネット接続が可能なパソコンをご準備ください。

① 「志」に登録し
動画を視聴する



② Zoom[®]で
オンライン・スクーリングを受ける

◆ 「志」とは

志とは、安心・安全に教育の質を保った授業を継続していくため、講義型やディスカッションを伴う授業など、通常対面で行う授業についても遠隔で実施ができる遠隔学習支援システムです。生体認証機能等を搭載し、本人確認をセキュアに行いつつ、学習コンテンツ（動画等）を遠隔地（自宅・病院等）に配信します。

また既存の大規模オンライン学習支援システムにはない、教育のバリアフリー化の実践のために必要な、障害特性に対応したアクセシビリティ機能（情報保障含む）を有します。この設備を一体的に整備することにより、障害者学習支援とあわせて、COVID-19に関する緊急事態宣言等の非常事態時に、自宅等で受講する遠隔授業に利用することができます。

◆ Zoom®とは

Zoom®とは、ビデオやマイクを接続し、インターネットを通じて同時に複数人と対面で会話することができるビデオミーティングシステムです。Zoom®については同社ホームページ (<https://zoom.us>) をご確認ください。

◆ 受講環境

- ・受講には、インターネット接続が可能なパソコンが必要です。
- ・ウェブカメラ
- ・マイク
- ・推奨ブラウザ

Microsoft Edge(Chromium) : 92

Safari macOS : 12.0

Safari iOS : 13.0

Google Chrome : 92

- ・推奨 OS

Windows : 8.1 - 10

MacOS : 10.13 High Sierra 11.0 Big Sur

Android : 9-11

iOS : 13 -14.7

※上記以降のバージョンでも問題なく動作すると思われませんが、もし動作上の問題が生じた場合は、事務局までご連絡ください。

7. オンライン・スクーリングについて

オンライン・スクーリングやオンライン・セッションは、受講される科目により1回~4回実施します。

オンライン・スクーリングやオンライン・セッションは、開催される日時が決まっておりますので、お申し込みの前に必ず、ご出席可能な日時であることをご確認ください。

また、すべての科目において、最終試験（または最終課題の提出）をZoom®を通じてオンラインで実施します。詳しい日程については別紙2をご確認ください。

Zoom®のミーティングIDやパスワードについては、オンライン・スクーリング開催日までに、ご登録いただきましたメールアドレスへ通知をするか、遠隔学習支援システム「志」の当該科目「講座お知らせ」欄に掲載する等でご案内いたします。

Zoom®で開催されるオンライン・スクーリングやオンライン・セッション及び最終試験（または最終課題の提出）では、出欠の確認を行います。必ず事前に、各自でお使いのパソコンでZoom®へログインをし、ミーティングへご参加可能であること、正常に作動することをご確認いただきますようお願いいたします。

その他オンライン・スクーリングやオンライン・セッション等に関するご質問等は、事務局までメールにてお問い合わせください。

※補講について

新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザ等学校感染症による出席停止となる状況、または忌引きの場合のみ、対応いたします。

8. 受講料（テキスト代別）

Ⅰ 科目 5,000 円

9. 受講出願から履修開始までの流れ

準備物

1. ご自身の顔写真付きの身分証明書（ご本人確認用）。
2. 学校勤務の方は所属長の承認 **別紙様式 1**（受講承諾書）。
それ以外の方は届出 **別紙様式 2**。

教員免許状の取得を目的とせずに「授業英語コミュニケーション」に限定して受講する方で、外国語指導助手等の立場で小学校外国語活動の授業に携わった経験がある方は、当該所属長等からの委嘱状や委任状の写し。（申し込み時点で所属が無い外国語指導助手等の経験者の方は、当時の所属長等からの委嘱状や依頼状など、その経験を証明できる文書の写し。）

3. メールアドレス

容量の大きな添付ファイルの受信が可能なメールアドレスを推奨します。随時、ご自身で受信内容をご確認ください。

<p>Step 1 Web 出願提出</p>	<p>■ 出願内容の入力・必要書類のアップロード</p> <p>愛媛大学免許法認定通信教育ホームページ-入学案内-Web 出願から、受講されるコースをご選択の上、必須入力項目のご入力、選択、必要書類をアップロードしてお申し込みをしてください。</p> <p><u>Step 1 の Web 出願の時点では、出願手続きは完了しておりません。Step 4 の事務局にて「受講料」の入金情報が確認でき次第、出願手続き完了となります。</u></p> <p><u>各科目、申込期限より前でも、定員に達し次第、締め切らせていただきますので、お早めに出願手続き完了までをお済ませください。</u></p> <p>申込開始 <u>令和 4 年 7 月 21 日（木）</u></p> <p>申込期限 <u>令和 4 年 7 月 27 日（水） 22 : 00</u></p> <p>※開講初日から受講される方は 7 月 24 日（日）15:00 までにお申し込みください。</p> <p>※Web 出願から、履修開始まで約 2~4 週間の期間がかかります。</p> <p>※申込期限を過ぎての受付・申込変更・取消は致しかねます。</p> <p>Web 出願完了後、自動返信メールが登録のメールアドレスに送信されます。</p> <p>出願内容（氏名・電話番号・メールアドレス・受講希望科目・科目数・受講料・現住所）について誤りがないかを必ずご確認ください。Web 出願の内容に変更が生じた場合、申込期間であれば、再出願である旨を備考欄に記載の上、再度 Web 出願を提出してください。その際、氏名・電話番号・メールアドレスは、既に出願した内容と同一にしてください。再出願後は、既に出願した内容は取消し扱いとなります。</p>
-----------------------------------	--

<p style="text-align: center;">Step 2</p> <p>「振込依頼書」の確認</p>	<p>■振込依頼書（はがき型）の受取・「ご請求金額」等の内容確認</p> <p>コンビニエンスストア決済用「振込依頼書（はがき型）」を、登録されたご住所に郵便にて送付いたします。</p> <p>受講科目の選択・出願は、ご自身の責任で行っていただいております。出願手続き完了後の各種変更や追加、取消及びそれに伴う返金手続きは致しかねますので、必ず振込依頼書に記載されている「ご請求金額」と、ご自身がWeb出願で選択しお申し込みをいただいた科目数の合計受講料が一致していることをご確認ください。内容に誤りがあった場合や、ご不明な点がある場合は、お振込をされる前に事務局までメールでお問い合わせください。</p> <p>振込依頼書には「支払期限」が設定されており、期限を過ぎると使用できません。振込依頼書の再発行依頼を受付けますので、事務局までメールでお問い合わせください。その際、再発行手数料を申し受けます。</p>
<p style="text-align: center;">Step 3</p> <p>受講料のお振込</p>	<p>■お振込・払込金受領証（お客様用）の保管</p> <p>「振込依頼書」を使用し、コンビニエンスストアにてお振込ください。</p> <p style="text-align: center;">振込期限 令和4年8月17日（水）23:59</p> <p>※開講初日から受講される方は8月5日（金）23:59までにお振込ください。</p> <p>受講料のお振込についての証明書等の発行は事務局では致しかねますので、払込金受領証（お客様用）は、大切に保管してください。</p>
<p style="text-align: center;">Step 4</p> <p>手続き完了</p>	<p>■手続き完了（提出書類に不備等がある方は個別にご連絡いたします）</p> <p>事務局にて「受講料」の入金情報を確認し、ご提出の書類に不備等がない方は、出願手続き完了となります。</p> <p>内容に不備等がある方は、事務局よりご連絡させていただきます。</p>
<p style="text-align: center;">Step 5</p> <p>「志」へのログイン</p>	<p>■「志」の UserID・Password の受取・受講に向けての準備</p> <p>遠隔学習支援システム「志」へログインするための「UserID・Password」は、ご登録のメールアドレスに送信されます。</p> <p>「UserID・Password」を受け取られましたら、受講に向けての準備として、遠隔学習支援システム「志」へのログインをお試ください。「志」へログインができましたら顔画像を登録し、事務局の承認をお待ちください。顔画像登録を実施されたデバイスのみでの受講をお願いいたします。（複数登録可）顔画像の承認は、事務局で、平日（夏期休業日・冬期休業日を除く）11:00～16:00に実施いたします。</p> <p>事務局にて「受講料」の入金情報が確認できた方から、以上の受講手続きを進めます。7月24日（日）15:00までにお申し込みいただき、受講料を8月5日（金）23:59までにお振込が完了している方へは、開講までに「UserID・Password」を送信します。開講期間内にお申し込みが完了された方へは、随時、送信いたしますが、9月12日（月）18:00までにメールが届かない場合は、お手数ですが事務局までメールにてご連絡ください。</p>

履修開始

◆ 履修について

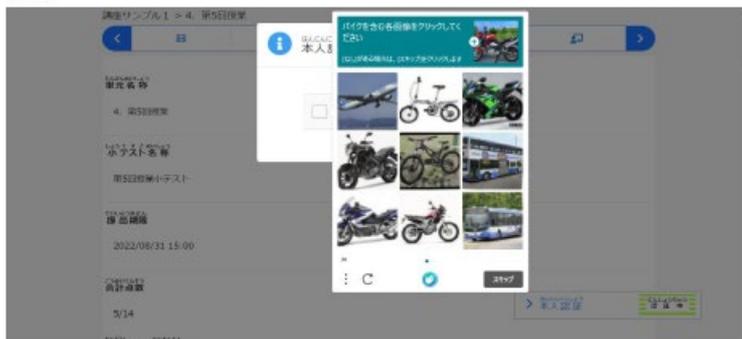
本通信教育は、遠隔学習支援システム「志」を通じて開講されます。また、開講期間中に Zoom®を通じてオンライン・スクーリングやオンライン・セッション及び最終試験（または最終課題の提出）を実施しますが、その際に本人確認を行いますので、ウェブカメラとマイクをご用意いただきますようお願いいたします。

また、「志」では動画の視聴中に、画面右下に顔認証の状況が表示されます。カメラがオンになっているにも関わらず『本人認証NG』が表示された場合、画面右下の「本人認証」から受講中断をし、正しく認証されるために正面を向いて受講再開をしていただきますようお願いいたします。※必ずカメラが接続され、オンになっているかをご確認ください。

顔認証の他に CAPTCHA 認証（画像・文字・音声入力の3種類）もあります。CAPTCHA 認証が受講中に画面に表示された場合はご対応ください。なお、表示される CAPTCHA 認証はアクセシビリティ設定で変更可能です。ご自身が答えにくいと思われる認証方法は、あらかじめアクセシビリティ設定でチェックを外していただきますようお願いいたします。

CAPTCHA認証を変更した場合

画像



文字



音声



スクーリングの開始時と終了時に、「志」の小テストによる顔認証を利用して本人認証を行います。スクーリング前に必ずカメラが接続され、オンになっていることを確認してください。カメラがオフの場合はCAPTCHA認証（画像、音声、文字入力による認証）を求められます。その場合は、カメラをオンにしてもう一度小テストに取り組んでください。

◆ 成績審査の方法

成績審査は、①動画の視聴状況と課題（確認テスト or レポート）の提出状況、②オンライン・スクーリングやオンライン・セッションへの出席状況、③最終試験（または最終課題）の結果の3点を総合して審査します。

(1) 令和4年12月26日（月）13:00までに、「志」上の各科目の動画を視聴し、課題（確認テスト or レポート）を全て提出した方に、最終試験（または最終課題の提出）を受けていただきます。

(2) 総合的に審査した結果、合格した方に「単位修得証明書（学力に関する証明書）」を発行します。

合格に至らなかった科目に関しては「成績審査の結果の通知」を送付します。

令和5年2月下旬から3月上旬に送付予定です。

10. 免許状の取得について

免許状を取得するには、「単位修得証明書（学力に関する証明書）」を所属の教育委員会にご自身で提出する必要があります。免許状の取得申請については、受講前に所属の教育委員会の教員免許状担当部署にご自身でご確認ください。

11. その他

(1) 受講期間中、やむを得ず通信教育を辞退する場合には、必ず別紙様式3の受講辞退届を記入し、辞退届受理期限内に「12. 問い合わせ先」の愛媛大学免許法認定通信教育事務局までメールにてご提出ください。辞退される場合（受講科目間違い等の辞退も含まれます。）、受講料の返還はいたしません。

辞退届受理期限：令和4年12月9日（金）

(2) 提出された個人情報、本通信教育に関わる目的にのみ使用し、他の目的には使用いたしません。

(3) 事務局の休業について

土曜日・日曜日・祝日

夏季休業：令和4年8月12日（金）～令和4年8月16日（火）

冬期休業：令和4年12月28日（水）～令和5年1月3日（火）

12. お問い合わせ先

◆ 本通信教育に関するお問い合わせ

※今年度は校舎改修の関係でお電話での対応が出来かねます。ご了承ください。

愛媛大学免許法認定通信教育事務局

メールアドレス： eu.nintei@gmail.com

ホームページ： 愛媛大学免許法認定通信教育事務局

<https://ninteikoshu.ed.ehime-u.ac.jp/>

愛媛大学教育学部

<http://www.ed.ehime-u.ac.jp/~edhp/>



令和4年度 愛媛大学中学校教諭二種（英語） 免許法認定通信教育
開設科目及び担当講師一覧・テキスト

免許状の種類	免許法別表第8対応科目	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設科目名 (授業科目名)	科目の概要 (講師名)	授与単位	実施期間	受講定員
		科目	各科目に含める必要事項	中心となる領域 含む領域				
*中二種免（英語）	○	教科	英語学	*○英語学 A (第二言語習得論) (R4 認定通信)	本講義を通して、1. 母語習得と第二言語習得との類似・相違点について述べるができる、2. 基本的な第二言語習得のプロセス及び主な理論について説明できる、3. 第二言語習得と様々な個人差（年齢、動機、適正、性格など）との関係を理解することができる、4. 自分が教える生徒を念頭に、より効果的な外国語としての英語の指導方法とは何かを考えることができる、ことを目指す。 (中山晃・長崎睦子)	1	R4.8.19 ～ R5.1.6	50
中二種免（英語）	○	教科	英語学	○英語学 C (英語語用論) (R4 認定通信)	コミュニケーションにおいて、同じ文を発していても、文脈の中で発話されることにより伝わる意味は幾通りにも異なる。本科目では、このような現象を説明する「語用論」の代表的な理論について概説する。また、実際の会話場面（英語・日本語）を例にとりながら、発話の解釈や齟齬の発生について分析する。 (三浦優生)	1	R4.8.19 ～ R5.1.6	50
中二種免（英語）	○	教科	英語文学	○英語文学 A (英語圏文学) (R4 認定通信)	英語圏の文学に関する素養は、英語ということばの裏側にある文化や思想を理解するうえで重要な役割を果たすものである。本科目では、英語圏の文学でも大きな地位を占めるイギリス文学とアメリカ文学について、代表的な作家・作品を取り上げ、作風や思想、時代背景、テーマなどを学んでいくことで、英語教員としての専門知識の基礎づくりを目指す。また、文学作品の内容のみならず、原文に触れることを通じて、文学における「ことば」という側面にも意識を向けられるような授業としたい。 (松村聡子・児玉晃二)	1	R4.8.19 ～ R5.1.6	30
中二種免（英語）	○	教科	英語コミュニケーション	○授業英語コミュニケーション A (Classroom English and Teacher Talk) (R4 認定通信)	英語での聞く・話すに焦点を置き、様々な文脈・言語活動における教室英語 (Classroom English) の解説を行う。特に、児童・生徒に英語の発話を効果的に促す英語表現や、ALT からの指示の英語表現など、授業というシチュエーションで必要とされる英語表現について学ぶ。 (Ian Downer)	1	R4.8.19 ～ R5.1.6	30

免許状の種類	免許法別表第8対応科目	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設科目名(授業科目名)	科目の概要 (講師名)	授与単位	実施期間	受講定員
		科目	各科目に含める必要事項	中心となる領域 含む領域				
中二種免(英語)	○	教科	英語コミュニケーション	○授業英語コミュニケーション B (Creating Lesson Plans) (R4 認定通信)	英語の授業案を ALT に効果的に説明したり、授業中の ALT との連携に際する英語表現の解説を行う。特に、日本語で指導案を作成した後、英語でその指導案の内容を ALT に伝達する際の基本的英語表現の他、指導における基本的英語表現や活動に際しての英語によるアクティビティ・ファシリテーション(Activity Facilitation in English)についても学ぶ。 (Harry Carley)	1	R4.8.19 ～ R5.1.6	30
中二種免(英語)	○	教科	英語コミュニケーション	○授業英語コミュニケーション C (Using ICT Strategies) (R4 認定通信)	社会において、様々な情報通信技術(Information and Communication Technology:ICT)を活用する場合に用いられる英語表現とその特徴について解説する。特に、プログラミング等も含めた ICT を活用した英語でのコミュニケーション活動について、英語使用の実践事例を紹介しながら、英語表現の理解を深め、表現力の向上を目指す。 (Scott Webber)	1	R4.8.19 ～ R5.1.6	30
中二種免(英語)	○	教科	英語コミュニケーション	○授業英語コミュニケーション D (Creating and Doing Activities) (R4 認定通信)	読み書きを中心に、英語の授業を行う際に必要な英語表現の解説を行う。特に、アクティビティ開発とその実践に際して必要となる英語表現を中心に取り上げ、様々な形式の英語コミュニケーション・アクティビティで用いられる表現を学ぶ。英語による効果的な導入表現についても、オンラインでの授業実践を想定した特有の表現も取り入れることで、今日的課題に対応した英語表現も学ぶ。 (Cynthia Gonzalez)	1	R4.8.19 ～ R5.1.6	30
中二種免(英語)	○	教科	異文化理解	○異文化理解 A (グローバル・コミュニケーション・スキル) (R4 認定通信)	個人、すなわち私たち一人ひとりは、社会という「環境」から、どのような影響を受けるか。また、任意の集団の中で、どのように振る舞うのか、そしてその行動の背景にある要因は何であるか。このような問いに対して、日本における言語・文化環境を軸として、他国、特に英語圏における言語・文化環境との比較を通して、言語・非言語コミュニケーション上の行動のメカニズムについて理解を深めることで、グローバル化する世界・社会において、どのように対応するべきか、手がかりが得られると言える。また、このコースでは、心理・言語学の視点も取り入れ、グローバル化した世界における様々なコミュニケーション上の課題について、これまでの知見や最近の研究成果を踏まえながら検討する。 (大谷みどり・中山 晃)	1	R4.8.19 ～ R5.1.6	50

免許状の種類	免許法別表第8対応科目	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設科目名(授業科目名)	科目の概要 (講師名)	授与単位	実施期間	受講定員
		科目	各科目に含める必要事項	中心となる領域 含む領域				
中二種免(英語)	○	教科	異文化理解	○異文化理解 B (社会言語学) (R4 認定通信)	本授業では、日本という言語・文化的環境において、外国語、すなわち英語を教育することの意味を、社会言語学の研究成果から吟味し、さらに様々な文脈(日常生活、風俗習慣、地理・歴史等)における言葉の教育のあり方を、異文化理解という枠組みで検討する。 (中山 晃・大谷みどり)	1	R4.8.19 ～ R5.1.6	50
中二種免(英語)	○	教職	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	英語科教育法 A (R4 認定通信)	英語科教育を対象として、第一に第二言語習得研究の理論を学び、言語活動のオンライン環境での疑似体験を通して理解を深めることを目指す。具体的には、外国語を学ぶことと母語を身につけることの違いとは何か、学習に個人差はあるのか、効果的とされる学習方法は何かといったトピックを扱う。第二に、新学習指導要領の内容を踏まえ、英語授業の構成要素(warm-up, oral introduction, 語彙指導、音読指導、言語活動など)の方法を理論面、技術面の両方から学び、授業実践力と授業省察力を高めることを目標とする。 (関谷弘毅)	1	R4.8.19 ～ R5.1.6	30
*中二種免	○	教職	生徒指導の理論及び方法、進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論 (R4 認定通信)	生徒指導は、学校教育における教科学習の内容以外に関する幅広い活動である。教育の目的が人格の完成にあることを考えると、生徒指導は学校生活のあらゆる場面で機能する必要がある。そのため、授業の前半では生徒指導の意義や原理、方法等の基礎を学ぶとともに、事例検討を通して生徒指導の機能を発揮させる方法を考える。後半では、生徒指導と密接に関連している進路指導について、キャリア教育の観点から理論的・実践的な検討を行う。 (梅田崇広)	1	R4.8.19 ～ R5.1.6	50
中二種免	○	教職	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談 (R4 認定通信)	近年、学校現場での必要性・重要性が増してきた教育相談について、支援と対話の視点から講義を行う。支援については、いじめや不登校の背景、学校及び地域での支援について概説する。対話については、教育相談の専門性に触れた上で、問題行動やいじめ問題等への対応、教育相談の具体的な傾聴方法に触れ、それらに関するレポート課題の作成を通して、学びを深めたい。 (信原孝司・榎木暢子)	1	R4.8.19 ～ R5.1.6	50

*中二種免(英語)は、「中学校教諭二種免許状(外国語(英語))」を示します。

*中二種免は、「中学校教諭二種免許状」を示します。

*開設科目名に○印を付した科目は、施行規則に定める科目区分等の各科目における一般的包括的内容を含む科目であることを示します。

テキスト

本年度開講の各通信教育では、以下のテキストを使用します。
テキスト代は受講者負担となります。お持ちでない方は事前の購入をお願いします。
オンライン書店での購入をお勧めします。本事務局では販売の取次は致しません。

◆ 【英語学 A】

馬場 今日子・新多 了(著)「はじめての第二言語習得論講義: 英語学習への複眼的アプローチ」大修館書店

◆ 【異文化理解 A】 : 概説 社会言語学 ひつじ書房 2200円

◆ 【異文化理解 B】: 概説 社会言語学 ひつじ書房 2200円

◆ 【英語科教育法 A】

白井恭弘. (2012). 『英語教師のための第二言語習得論入門』. 大修館書店

※上記以外にも、テキストが必要となる場合がございます。

その場合、「志」の講座お知らせページ等でご案内をさせていただきます。

担当講師一覧

科目	講師	所属等
英語学 A(第二言語習得論) (R4 認定通信)	中山 晃	愛媛大学教育・学生支援機構 教授
	長崎 睦子	獨協大学 外国語学部交流文化学科 教授
英語学 C(英語語用論) (R4 認定通信)	三浦 優生	愛媛大学教育・学生支援機構 准教授
英語文学 A (英語圏文学) (R4 認定通信)	松村 聡子	関東学院大学 国際文化学部 教授
	児玉 晃二	関東学院大学 国際文化学部 専任講師
授業英語コミュニケーション A (Classroom English and Teacher Talk) (R4 認定通信)	Ian Downer	愛媛大学教育・学生支援機構 助教
授業英語コミュニケーション B (Creating Lesson Plans) (R4 認定通信)	Harry Carley	松山大学人文学部英語学科 常勤講師
授業英語コミュニケーション C (Using ICT Strategies) (R4 認定通信)	Scott Webber	愛媛大学教育・学生支援機構 助教
授業英語コミュニケーション D (Creating and Doing Activities) (R4 認定通信)	Cynthia Gonzalez	京都外国語大学 外国語学部 英米語学科 講師
異文化理解 A (グローバル・コミュニ ケーション・スキル) (R4 認定通信)	中山 晃	愛媛大学教育・学生支援機構 教授
	大谷 みどり	島根大学教育学部 客員研究員 島根大学外国語教育センター非常勤講師
異文化理解 B(社会言語学) (R4 認定通信)	中山 晃	愛媛大学教育・学生支援機構 教授
	大谷 みどり	島根大学教育学部 客員研究員 島根大学外国語教育センター非常勤講師
英語科教育法 A (R4 認定通信)	関谷 弘毅	東洋英和女学院大学人間科学部 准教授
生徒・進路指導論 (R4 認定通信)	梅田 崇広	愛媛大学 教育学部 講師
教育相談 (R4 認定通信)	信原 孝司	愛媛大学大学院教育学研究科 心理発達臨床専攻 専攻長
	榎木 暢子	愛媛大学大学院教育学研究科 教授

◆ オンライン・スクーリング日程

科目 番号	科目名	日時
1	英語学 A(第二言語習得論)	9/ 3 (土) 16:20~16:50 10/29(土) 15:00~15:30
2	英語学 C(英語語用論)	9/ 3 (土) 15:00~15:30 10/29(土) 15:40~16:10
3	英語文学 A (英語圏文学)	
4	授業英語コミュニケーション A (Classroom English and Teacher Talk)	9/ 3 (土) 13:40~14:10 10/29(土) 13:40~14:10 12/ 3 (土) 13:40~14:10
5	授業英語コミュニケーション B (Creating Lesson Plans)	9/ 3 (土) 14:20~14:50 10/29(土) 14:20~14:50 12/ 3 (土) 15:00~15:30
6	授業英語コミュニケーション C (Using ICT Strategies)	9/ 3 (土) 11:20~11:50 10/29(土) 11:20~11:50 12/ 3 (土) 14:20~14:50
7	授業英語コミュニケーション D (Creating and Doing Activities)	9/ 3 (土) 12:45~13:30 10/29(土) 12:45~13:30 12/ 3 (土) 12:45~13:30
8	異文化理解 A (グローバル・コミュニケーション・スキル)	9/ 3 (土) 17:00~17:30 10/29(土) 16:20~16:50
9	異文化理解 B(社会言語学)	9/ 3 (土) 17:40~18:10 10/29(土) 17:00~17:30
10	英語科教育法 A	9/ 3 (土) 15:40~16:10 12/ 3 (土) 15:40~16:10
11	生徒・進路指導論	9/ 3 (土) 10:40~11:10 10/29(土) 10:40~11:10
12	教育相談	9/ 3 (土) 9:15 ~ 9:45 10/29(土) 10:00~10:30

◆最終試験（または最終課題提出）日程

科目 番号	科目名	日時
1	英語学 A(第二言語習得論)	1/6(金) 17:00~19:00
2	英語学 C(英語語用論)	1/4(水) 18:00~19:00
3	英語文学 A (英語圏文学)	1/6(金) 17:00~19:00
4	授業英語コミュニケーション A (Classroom English and Teacher Talk)	1/6(金) 17:00~19:00
5	授業英語コミュニケーション B (Creating Lesson Plans)	1/6(金) 17:00~19:00
6	授業英語コミュニケーション C (Using ICT Strategies)	1/6(金) 17:00~19:00
7	授業英語コミュニケーション D (Creating and Doing Activities)	1/5(木) 17:00~19:00
8	異文化理解 A (グローバル・コミュニケーション・スキル)	1/6(金) 17:00~19:00
9	異文化理解 B(社会言語学)	1/6(金) 17:00~19:00
10	英語科教育法 A	1/6(金) 17:00~19:00
11	生徒・進路指導論	1/6(金) 17:00~19:00
12	教育相談	1/6(金) 17:00~19:00

複数科目の最終試験または最終課題提出が同じ日時に設定されておりますが、
複数科目を履修される方は、履修されるすべての科目について提出していただけるように配慮いたします。

<日時別>

オンライン・スクーリング日程

※開設科目一覧表とは順が異なりますので、ご注意ください。

月日	時間帯	科目
9月3日(土)	9:15~9:45	教育相談
	10:40~11:10	生徒・進路指導論
	11:20~11:50	授業英語コミュニケーションC
	12:45~13:30	授業英語コミュニケーションD
	13:40~14:10	授業英語コミュニケーションA
	14:20~14:50	授業英語コミュニケーションB
	15:00~15:30	英語学C
	15:40~16:10	英語科教育法A
	16:20~16:50	英語学A
	17:00~17:30	異文化理解A
	17:40~18:10	異文化理解B
10月29日(土)	10:00~10:30	教育相談
	10:40~11:10	生徒・進路指導論
	11:20~11:50	授業英語コミュニケーションC
	12:45~13:30	授業英語コミュニケーションD
	13:40~14:10	授業英語コミュニケーションA
	14:20~14:50	授業英語コミュニケーションB
	15:00~15:30	英語学A
	15:40~16:10	英語学C
	16:20~16:50	異文化理解A
	17:00~17:30	異文化理解B
12月3日(土)	12:45~13:30	授業英語コミュニケーションD
	13:40~14:10	授業英語コミュニケーションA
	14:20~14:50	授業英語コミュニケーションC
	15:00~15:30	授業英語コミュニケーションB
	15:40~16:10	英語科教育法A

<日時別>

最終試験（または最終課題提出）日程

月日	時間帯	科目
1月4日（水）	18:00~19:00	英語学 C
1月5日（木）	17:00~19:00	授業英語コミュニケーション D
1月6日（金）	17:00~19:00	英語学 A
		英語文学 A
		授業英語コミュニケーション A
		授業英語コミュニケーション B
		授業英語コミュニケーション C
		異文化理解 A
		異文化理解 B
		英語科教育法 A
		生徒・進路指導論
教育相談		

複数科目の最終試験または最終課題提出が同じ日時に設定されておりますが、複数科目を履修される方は、履修されるすべての科目について提出していただけるように配慮いたします。

令和 年 月 日

愛媛大学教育学部長 殿

受講者氏名 _____ 印

所属校名 _____

勤務先電話番号（ _____ - _____ - _____ ）

令和4年度 愛媛大学 中学校教諭二種（英語） 免許法認定通信教育を受講することを承認します。

所属校名

校長氏名

職印

令和 年 月 日

愛媛大学教育学部長 殿

受講者氏名 _____ 印

在職期間 _____ 年 _____ ヶ月間

(_____ 年 _____ 月 _____ 日から

_____ 年 _____ 月 _____ 日まで)

所属の教育委員会名

所属の教育委員会電話番号

(_____ - _____)

令和 4 年度 愛媛大学 中学校教諭二種（英語） 免許法認定通信教育を受講するにあたり、在職期間と所属の教育委員会名を届出します。

受理期限：令和4年12月9日（金）

期限までに受理されるように事務局へご提出ください。

令和 年 月 日

愛媛大学教育学部長 殿

受講者氏名 _____ 印

志ID _____

所属校名 _____

勤務先電話番号（ _____ - _____ - _____ ）

辞退される科目 いずれか該当する方の□を塗りつぶしてしてください。

- 全科目
- 一部科目

1 科目許可番号及び受講科目名 全科目・一部科目いずれの場合も、すべて記載してください。

2 辞退理由

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

所属校名 _____

校長氏名 _____

職印 _____